

日本 MOT 学会 2020 年 9 月度セミナー

共催:日本 MOT 学会, 日本 MOT 振興協会、科学技術と経済の会

「超過密線区、システム化への挑戦!!」

～仕事の仕組み改善と装置の融合～

MOT に関心をお持ちの皆様には日頃から多大のご支援をいただきありがとうございます。今般、山野 道彦氏(観光戦略アドバイザー、元東日本旅客鉄道株式会社 新幹線運行本部・東京総合指令室総括指令長)に、「超過密線区、システム化への挑戦!!」～仕事の仕組み改善と装置の融合～の講演をお願いすることになりました。多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

日時: 令和2年9月4日(金) 19:00～21:00

場所: Web 会議(Zoom を予定しております)

演題: 「超過密線区 システム化への挑戦!!」

～仕事の仕組み改善と装置の融合～

講師: 山野 道彦氏

(日本国有鉄道・東日本旅客鉄道株式会社(東京圏運行管理システム開発・導入、新幹線運行本部・東京総合指令室総括指令長、日暮里駅長)・東京モノレール株式会社(浜松町駅長・営業部担当部長・社長室特命担当・観光戦略アドバイザー)

要旨: 高度成長を支えてきた日本国有鉄道、特に首都圏の通勤輸送はまさに民族の大移動、混雑率 150%を超え 2 分間隔で運行する列車の計画・管理をシステム化することは至難とされ、踏み込めない領域とさえ言われてきた。その様な中で、システム化の目的は何か、事故を招きかねない現場作業を如何に軽減し、確実性を向上させるかを追求、今日の鉄道システム構築に大きくかかわってきた。

近年の多発する災害・コロナ禍に見られる社会情勢の変化に、如何に対応すべきかを幾多の困難を乗り越えてきた経験を基に考察を試みる。

参加対象: 日本 MOT 学会員、日本 MOT 学会からの紹介者、日本 MOT 振興協会会員、JAIST 学生、JAIST 本校および東京社会人コース関係者(参加費無料)。8月27日(木)までに下記申し込みページからエントリーをお願いします。なお、エントリー者多数の場合、参加をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

申し込み:

日本 MOT 学会ホームページ、<http://www.js-mot.org/> (掲載の入力フォームにて申し込みをお願いします)

募集人数: 90 名 (申し込み先着順)

申し込み〆切: 8月27日(木)

なお、参加者に余裕のある場合は、一般の方の参加も受け付けますが、参加費として 2,000 円を徴収させていただきます。不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

問い合わせ先:

野元伸一郎 shinichiro.nomoto@go-mirai.jp (日本 MOT 学会 企画委員副委員長/みらい株式会社 統括ディレクター COO)